



南魚沼市

12月定例会

8日～18日 傍聴者 52人(延べ)

議会だより

No. 45 2016年2月1日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 山田 勝
●編集：議会広報編集特別委員会

議事録等 詳細は…

南魚沼市議会

検索



魚野川から望む石打丸山スキー場

第2回臨時会報告	2
新しい議会構成の紹介	3
12月定例会報告	4～6
12月定例議会の全議決結果	6、7
一般質問 22名が市政を質す	8～17
地域医療対策調査特別委員会報告	18
視察受入れ実績報告	18
CCRC勉強会を行いました	19
議会報告会を開催しました	20

平成27年 第2回臨時会 の概要

11月5日に開かれた臨時会では、正副議長から辞表が提出され、新しい正副議長が選任されました。また、3常任委員会と議会運営委員会の構成も新しくなりました。

その他、補正予算や条例の改正についても審議が行われました。

平成27年一般会計補正予算第5号

1,530万円追加して

総額354億

6,384万3千円に

質疑応答 (抜粋)

Q 市民病院外構工事費1,753万円繰り出しは総工事費の増額になるのか。

A 新年度予定している外構工事の前倒しだ。ロータリーなどは県の建物を撤去しないと手が付けられないので、28年度以降になる。本体、機械、什器などで工事費は70億円弱だ。これに、用地補償費、上下水道移設、引越など合わせて74億円ぐらいだ。

Q 大和病院の累積赤字が13億円強だが、どうするの。

A 一番の問題は一時借入金だ。5〜6億円の間だが、新年度予算で解消する。



平成27年第2回臨時会の全議決結果

議案番号	市長提出議案	採決結果
第93号議案	平成27年度南魚沼市一般会計補正予算(第5号)	可決(全会一致)
第94号議案	平成27年度南魚沼市病院事業会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第95号議案	財産の取得について(新堀新田)	可決(全会一致)
第96号議案	南魚沼市監査委員の選任について(桑原 圭美)	同意(全会一致)
議案番号	議員発議案	採決結果
発議第8号	南魚沼市議会委員会条例の一部改正について	可決(全会一致)
	議長の辞職について(関 常幸)	許可(全会一致)
選挙第1号	議長の選挙について	当選人 山田 勝
選挙第2号	副議長の選挙について	当選人 黒滝 松男
選挙第3号	新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	当選人 腰越 晃
選挙第4号	魚沼地域特別養護老人ホーム組合議会議員の選挙について	当選人 腰越 晃
許可第1号	議長の常任委員会委員の辞任について	許可(全会一致)

新しい議会構成が決まりました

議長の辞職及び常任委員会委員の任期満了等により、
平成 27 年 11 月 5 日に開かれた第2回臨時会で、新しい議会構成が決まりました。

未来に思いを
はせながら



議長
山田 勝

平成 27 年第 2 回臨時会におきまして、南魚沼市議会第 7 代議長に就任いたしました。その後、緊張の中 12 月定例議会を務めることができましたが、議会以外での議長公務がこのようなようにあるのかと、驚きの中日々遂行をしております。

議会議員の仕事は、市長をはじめ職員が市民のための政策を実施しようとするとき、その最終決定をすることです。意見の違う議員同士が議論を重ね、賛成意見や反対意見の中から最良の決定を行うことです。このことから、これからは議員の資質向上と合わせ、より議員同士が議論できる活発な議会の環境づくりも進めていきたいと思っています。

平成 28 年は、今後 10 年の街づくりを進める新たな出発となります。10 年後 20 年後を目指した議会にしていきたいと思えます。

融和による
開かれた議会を



副議長
黒滝 松男

議員の皆様方より信任をいただきまして、副議長の要職に就任いたしました。大役を賜り身の引き締まる毎日であります。

昨年 6 月に基幹病院、11 月には市民病院が開院し、魚沼圏域の医療体制は格段に向上いたしました。今後も更に医療の安心・安全を目指してまいります。

さて、本年は 7 月に参議院選挙、10 月には県知事選挙そして 11 月は市長選挙が予定されています。

また、第 2 次総合計画（平成 28 年度から 10 年間）と市総合戦略（平成 27 年度から 5 年間）を策定し、少子高齢化の進行や人口減少を見据えた政策・施策を確実に実行していかねばなりません。

開かれた議会運営に努めてまいりますので、市民各位のご指導、ご理解をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

議長	副議長	監査委員
山田 勝	黒滝 松男	桑原 圭美

	委員会名	委員長	副委員長	委員	任期
常任委員会	総務文教委員会	塩谷 寿雄	塩川 裕紀	笛木 晶、黒滝松男、中沢俊一、岡村雅夫、今井久美、樋口和人	H27.11.5 ~ H29.10.31
	産業建設委員会	鈴木 一	清塚 武敏	永井拓三、佐藤 剛、桑原圭美、阿部俊夫、阿部久夫、若井達男	
	社会厚生委員会	腰越 晃	寺口 友彦	田村眞一、勝又貞夫、林 茂男、小澤 実、中沢一博、牧野 晶、関 常幸	
	議会運営委員会	佐藤 剛	今井 久美	清塚武敏、桑原圭美、林 茂男、塩谷寿雄、小澤 実、中沢一博、岡村雅夫	
特別委員会	地域医療対策調査特別委員会	林 茂男	中沢 一博	佐藤 剛、塩谷寿雄、小澤 実、岡村雅夫、今井久美 (欠員 1)	付議された事件の審議が終わるまで又は議員任期 (H29.10.31) まで
	議会広報編集特別委員会	寺口 友彦	永井 拓三	田村眞一、清塚武敏、勝又貞夫、桑原圭美、笛木 晶、塩谷寿雄	
	人口減少対策調査特別委員会	若井 達男	牧野 晶	議長を除く議員全員	

平成27年 12月定例会 の概要

12月定例会では、条例の改正や補正予算、南魚沼市第2次総合計画の策定などが議案となりました。その他に、市有施設の指定管理者の指定や、教育委員の任命についても審議されました。

●本会議は12月8日、14日～18日の6日間。常任委員会は10日、14日に開かれました。

●議決結果は7ページをご覧ください。

質疑応答 (抜粋)

報告第25～27号

専決処分した事件の報告について
(魚沼荘改築工事請負契約の変更)

- Q 「建築費増額612万2,520円」「電気工事費増額73万6,560円」「機械工事費増額349万3,800円」で総額13億5,916万9,200円になるが、なぜ今回増額なのか。当初設計になかったが安全面を考へての増額、施設運営上必要となったための増額、未計上の制御盤が必要で増額などだ。変更が出るのは普通だが、設計管理、監督の不十分は市に責任がある。
- A

第98号議案

第2次南魚沼市総合計画について
(基本構想の議決)

- Q 第1次総合計画と文言が80%～90%は同じではないか。新しい10年は変化がないのか。
- A 第1次との整合性で、大まかな部分は同じであるべきだ。細かな実施計画は違ってきているも

のがある。

- Q 6つの基本政策が柱となっているが、その元の基礎部分は変わらないのか。
- A 基礎部分は、「自然・人・産業の和で築く安心のまち」で変わるものではない。

第100号議案

南魚沼市税条例の一部改正について

- Q 軽自動車のナンバーがなければ課税しないとなったのはどうか。
- A ナンバーがあるものは中古車であっても課税していた。上位法との整合を図っただけだ。

- Q 今後あらゆる申請に対してマイナンバーを書くのか。
- A いまのところ国保、後期高齢者医療、介護保険、生活保護、国の定めた様式についてはマイナンバーを書く欄がすべてつく。平成28年1月1日から記入することになる。

第102号議案

南魚沼市大和B&G海洋センター
条例の一部改正について

- Q これを機に体育館すべてを網羅する条例を一本化し整備をする検討を行っているか。
- A 旧大和町の時代にB&G財団へ誘致の請願をおこなって設置した施設だ。独立した設置条例が制定されている。他の施設とまとめた条例改正は検討していない。

第106号議案

南魚沼市養護老人ホーム魚沼荘の
指定管理者の指定について

- Q スタッブ配置と給食業務の予算規模は。
- A スタッブは経費の節減のため23名でやっていく。今年度の予算は約3,900万円になる。

第111号議案

八海山麓観光施設の指定管理者の
指定について

- Q 冬の業務委託料1,100万円が計上されているが上限はあるのか。
- A 上限は決めていない。業務委託料は数年据え置いている。軽微な修繕は指定管理者でおこなっている。高額な修繕の場合は指定管理と協議をしておこなっている。

Q 合併して11年となる。完全に民営化でやってもらうという考えはないか。

A 旧町で建設、維持していた施設を一律に完全民営化はできない。地元はスキー場、サイクリングターミナルを糧にして生きてきた。民間でうけるところがあればまかせますが、今そういう状況ではないと判断している。

Q シーズン券を安くして市民から使いやすくすることは考えないか。

A 民間のスキー場に影響が出る。公の施設だからといってここだけ安くはできない。

第112号議案

平成27年度南魚沼市一般会計補正予算(第6号)
1億3,842万4千円追加して
総額356億226万7千円に

Q 振り込め詐欺対策通話録音装置普及費40万円について、購入代金を支給するのか。

A 市が機械を1万円で40台購入し、高齢者に支給する。基準はこれから決める。

Q 生活保護費不正請求で警察に告

発したが、監視体制は十分か。

A 今回は働いているところをたまたま見つけてわかった。不正はだめだと注意喚起をするために警察に告発した。6か月ごとに訪問、収入調査を実施している。

Q ふるさと納税が2,263万7千円きているが、国際大学への寄付が2,193万7千円とはどういうことだ。

A 国際大学が企業を回り、寄付を集めている。市へは10%が残り、あとは国際大学への支援とする。現在6千万円を超えている。返礼品は出さない方向は同じだ。

Q スペシャルオリンピックスへの寄付金はどうなっている。

A 現在、500万円は超えている。

Q 農業振興対策費2,808万円

について、TTP大筋合意で市内の農家は不安だ。農家支援の予算はこれで終わりか。

A 合意の全体像がはつきりしてから、3月補正、新年度予算で対応したい。

Q 企業立地促進費4,710万円について、新堀の土地全てをコマツが取得し、市が排水路を整

備するのか。

A コマツは半分の1万9,000㎡くらいだ。コマツからは2,507万円の負担をしてもらうが、未利用の土地部分は市が負担して、全体の排水路を整備する。将来、魚沼市も含めて工場を統合するようだが、設備投資額ははつきりしていない。

Q インド・スリランカへの観光誘客は何をするのか。

A 大和庁舎のITパークに関連して、国際大学の人脈を活かし、市の観光PRをインド博で行う。

第115号議案

平成27年度南魚沼市城内診療所特別会計補正予算(第2号)
752万4千円減額して総額
1億6,305万8千円に

Q 入院を止めて外来のみにしたが、経営が悪化している。

A 高橋所長は自身の都合により28年3月いっぱい退職する。引き留めたが、ご自身の理由が厳しいものがある。民間委託も含めて、根本的にやり方を変えていく。

第118号議案

平成27年度南魚沼市病院事業会計補正予算(第3号)
収入、支出共に3億4,269万円の増額(元県立六日町病院解体設計業務委託料)

Q 本館、外来棟、透析棟、看護師寮などの解体更地に設計費がどんなにいいのか。

A 当初からすべて撤去して更地にするので全体費用を見込んだ。その後、市が利用するには別途市の負担がある。

Q 基幹病院開院後大和病院の外来が22・9%落ち込み、医業収益赤字も1億6千万円と増えている。

A 11月の1か月で、市民病院は病床稼働率80%を超えた。大和病院も予想以上に外来が来ている。年間の収支予測通りの動きだ。

Q 県立病院の施設を再利用し、来年度からの新規事業も考えたほうが良いのではないか。

A 県立病院建物の再利用は考えない。

賛否一覧表

賛否が分かれた議案、退・欠席者がいた議案の詳細を表示しています
 ○=賛成 ×=反対 -=退席 欠=欠席

※議長は採決に加わりませんが、賛否が同数の場合は議長採決となります

議案	会派		歩む会					市政クラブ					新生市民クラブ			南魚政策研究会			南魚みらいクラブ					日本共産党議員団					
	氏名		笛木 晶	林 茂 男	鈴木 一	塩谷 寿雄	牧野 晶	阿部 久夫	勝又 貞夫	桑原 圭美	山田 勝	今井 久美	腰越 晃	阿部 俊夫	佐藤 剛	寺口 友彦	中沢 俊一	永井 拓三	中沢 一博	樋口 和人	塩川 裕紀	清塚 武敏	小澤 実	黒滝 松男	関 常幸	若井 達男	田村 眞一	岡村 雅夫	
100号議案			○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
101号議案			○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
111号議案			○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

総務文教委員会報告

本会議から付託された議案の審議
 第99号議案
 南魚沼市議会の議決すべき事件を
 定める条例の一部改正

改正の内容

議会が議決すべき事件の中に、定住自立圏形成協定の締結、変更又は廃止を追加する。

改正の理由

魚沼市・湯沢町と定住自立圏を形成するため、当市は平成27年9月29日に定住自立圏中心市宣言を行った。今後、関係市町と定住自立圏形成協定の締結が必要となる。

定住自立圏構想推進要綱によると、定住自立圏形成協定の締結は議会の議決を経ることになっているため、条例に追加する必要がある。

質疑

Q 流れ、ルールがわからないと目的が見えない。市の考えは。

A 少子高齢化の中で地方創生が必要だという国の制度である。中心市の都市機能を中心とし、周辺地域の農林水産、事前環境、歴史文化

等魅力を活用し、役割分担・連携・協力し、地域住民の暮らしを守り、人口の定住を促進する目的である。

Q 協定が突然議案として出ても審議するのは難しい。勉強会などは考えているか。

A 定住自立圏は、総合計画の中での課題解決するための一つの手段である。それに載っていないものが新たに定住自立圏の中で出てくることは想定していない。

総務文教委員会の審査結果

・原案のとおり可決すべきもの
 (全会一致)

本会議での審査結果

・原案可決(全会一致)

用語解説

「定住自立圏」とは…

定住自立圏は、地方でも安心して暮らせる地域を形成し、地方への人の流れを創出するための政策です。中心市とその周辺市町村が協定を結び、役割分担をして形成していきます。南魚沼市では28年度に7,800万円程度、周辺市町村では1,500万円程度の交付税を予定しているほか、様々な国からの財政措置が存在します。

平成27年12月定例会の全議決結果

議案番号	市長提出議案	採決結果
第97号議案	新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	可決 (全会一致)
第98号議案	第2次南魚沼市総合計画について	可決 (全会一致)
第99号議案	南魚沼市議会の議決すべき事件を定める条例の一部改正について	可決 (全会一致)
第100号議案	南魚沼市税条例の一部改正について	可決 (賛成多数)
第101号議案	南魚沼市入湯税条例の一部改正について	可決 (賛成多数)
第102号議案	南魚沼市大和B&G海洋センター条例の一部改正について	可決 (全会一致)
第103号議案	南魚沼市放課後児童クラブ条例の一部改正について	可決 (全会一致)
第104号議案	五日町シャンツェの指定管理者の指定について (五日町観光協会)	可決 (全会一致)
第105号議案	万条児童遊園の指定管理者の指定について (万条行政区)	可決 (全会一致)
第106号議案	南魚沼市養護老人ホーム魚沼荘の指定管理者の指定について (社会福祉法人 南魚沼市社会福祉協議会)	可決 (全会一致)
第107号議案	南魚沼市立中之島診療所の指定管理者の指定について (医療社団法人 優真会)	可決 (全会一致)
第108号議案	南魚沼市長崎グラウンド管理棟の指定管理者の指定について (長崎生産森林組合)	可決 (全会一致)
第109号議案	南魚沼市森林公園の指定管理者の指定について (五日町森林公園施設管理組合)	可決 (全会一致)
第110号議案	塩沢勤労者福祉会館の指定管理者の指定について (塩沢織物工業協同組合)	可決 (全会一致)
第111号議案	八海山麓観光施設の指定管理者の指定について (株式会社 アクティ)	可決 (賛成多数)
第112号議案	平成27年度南魚沼市一般会計補正予算 (第6号)	可決 (全会一致)
第113号議案	平成27年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	可決 (全会一致)
第114号議案	平成27年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算 (第2号)	可決 (全会一致)
第115号議案	平成27年度南魚沼市城内診療所特別会計補正予算 (第2号)	可決 (全会一致)
第116号議案	平成27年度南魚沼市下水道特別会計補正予算 (第2号)	可決 (全会一致)
第117号議案	平成27年度南魚沼市水道事業会計補正予算 (第1号)	可決 (全会一致)
第118号議案	平成27年度南魚沼市病院事業会計補正予算 (第3号)	可決 (全会一致)
第119号議案	字の変更について (宇津野新田 他)	可決 (全会一致)
第120号議案	市道の認定について (河原崎1号線 他2件)	可決 (全会一致)
第121号議案	市道の路線変更について (宮田東線、野際西線)	可決 (全会一致)
第122号議案	市道の路線廃止について (宮田西線)	可決 (全会一致)
第123号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について (木村 恵美子)	同意 (全会一致)
第124号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について (中島 澄江)	同意 (全会一致)
第125号議案	南魚沼市教育委員会委員の任命について (角谷 正雄)	同意 (全会一致)

一

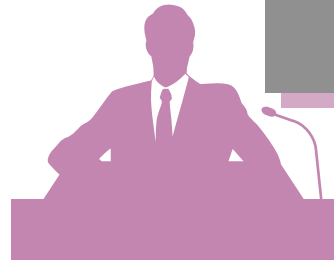
般

質

問

■ 質問順位

1. 岡村 雅夫
2. 鈴木 一
3. 若井 達男
4. 永井 拓三
5. 清塚 武敏
6. 中沢 俊一
7. 塩谷 寿雄
8. 林 茂男
9. 塩川 裕紀
10. 今井 久美
11. 樋口 和人
12. 中沢 一博
13. 腰越 晃
14. 田村 眞一
15. 勝又 貞夫
16. 佐藤 剛
17. 桑原 圭美
18. 寺口 友彦
19. 小澤 実晶
20. 笛木 俊夫
21. 阿部 晶
22. 牧野 晶



一般質問とは…

議員が市の一般事務について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いただすものです。



日本共産党議員団
岡村 雅夫

大和病院の療養病床
がなくなったが

答
老人保健施設を検討
する

Q
市民病院が開院され、総事業費74億円と聞く。

① 市民病院が開院され、総事業費74億円と聞く。

入札結果は、34億9,704万円で、8〜11億円除外しての入札だった。契約額の根拠は示されず、承認された。入札後なら、設計図書の公開をすべきだ。

② 大和病院の療養病床38床が無くなった。医療・介護の再編は、施設から在宅への移行だが、その体制がとれていない。南棟が空くことになるが、老人保健施設への転換事業として有効利用すべきだ。

③ 六日町病院の既存建物を、

保健、医療、介護、福祉の拠点施設として有効利用できないか。総合事業で介護を後退させない取組みが必要だ。

A
市長

① 外来は順調だ。5年間は赤字になるが、心配ない体制にする。経済情勢で建設費が増加し、本体56・5億円、機器17・5億円となった。歩掛の公開はする必要がない。

② 再編は理想と現実が離れている。老人保健施設は必要



取り壊し予定の旧県立六日町病院

性がでてくる。市でできるか検討する。
③ 取り壊して駐車場にし、医療モール等を計画している。



歩む会
鈴木 一

改めよ
現行の奨学金制度を

答
現行のままとする

Q
質問

経済大国に生まれ、平等の教育を受けられる権利がありながら、スターラインにさえ立てない。所得の差で受けられる教育に差があつてはならない。

子どもが小さい時からすでに進学を諦めているところが多いのではないか。

① 奨学金の額は適正か。地方から大学へ行くには年に300万円ほどかかる。入学時には他に出費もある。一人前の給料分の負担が必要となるが、現行の月5万円の奨学金で足りるのか。また、他の制度との併用を可能とすべきではないか。
② 現行の保証人制度でいいか。連帯保証人がいない場合、



あるいは市や本人のリスクを考えたら、保証会社等の利用はできないか。

③メデイカルタウン構想・医師不足等を考えれば、医学部生への奨学金がないのはどうなのか。

A 教育長
①返済のことを考えて、現在の制度としていい。従って増額は考えていない。

②保証協会の保証だと、返済が延滞した場合、カードの利用に制約が生じるなど、厳しい条件となる。身内の保証人の方が、本人も借りやすいと思う。民間の奨学金もあり併用して利用できる。

③制度はあるが今までまったく利用がなかったので、基

金の積み増しは考えていない。



南魚みらいクラブ
若井 達男

**スポーツ健康都市
南魚沼市の明日へ**

答 全力を尽くす

Q 質問
①スペシャルオリンピック
ツクス2016新潟

大会の成功のための準備は進んでいるか。

②2020東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致の考えはないか。

③健康寿命の延伸についてどのように考えているか。

A 市長
①気運も盛り上がり、財源、当日のおもてなしを含め順調に進んでいる。

②合宿練習場は大会会場と同等の条件が必要である。大

原運動公園多目的グラウンドでの視覚障がい者5人制サッカーの合宿に、姉妹都市のあるニュージーランド、ノルウェー、オーストリアの3か国の誘致も進めている。

③平均寿命と健康寿命の県平均の差が男性で9・6年、女性で13・2年である。健康寿命の延伸で医療費・介護保険料の抑制、そして家族負担の軽減など、はかり知れない効果がある。

日本体育大学と市の協定でも、スポーツ選手の育成、心身の健康づくり、健康寿命の延伸が決まっている。



五日町スキー場



南魚政策研究会
永井 拓三

スケートパークの建設について

答 平成30年の供用を目指し、進んでいる

Q 質問
若者の意見・要望を反映するための一つの案としてスケートパークをコンクリートで建設を予定しているが、計画はいかに。

①平成30年の供用開始に向けて、建設予定地はどこであるか。

②建設するスケートパークの施設の内容はどのレベルのスキルに合わせたものか。

③維持及び管理体制はどのように考えているか。

A 市長
①いくつかの案があるが、今のところ小栗山の現在のスケートパークがあるサンスポーツランドを予定している。土壌等の陥没問題も建設には影響はないと考えている。

②基本的には初中級者を対象に、専門家の意見を取り入れて建設にあたる。初心者には初心者用のスペースも用意しようと考えている。

③維持管理には費用がかかることは想定している。特にナイターなどを行う場合には人員配置なども含めて考えていく。



代表的なスケートパーク

新たに作ったハザードマップを利用した防災教育について

答 有効活用をしないと意味はないと考えている

Q 質問
①新たに作った複合型のハザードマップを有効に活用して今後どのような計画で市内での防災教育を展開していくかを伺う。

②基本的には初中級者を対象に、専門家の意見を取り入れて建設にあたる。初心者には初心者用のスペースも用意しようと考えている。

③維持管理には費用がかかることは想定している。特にナイターなどを行う場合には人員配置なども含めて考えていく。

A市長 地域の消防団などと連携して、地域密着型の防災教育を目指して活用していく。



南魚みらいクラブ
清塚 武敏

農業の将来、ICT技術活用をどう進めて行くのか

答 地域で培った高い農業技術をデータ化して活用される状況を目指す

Q質問 ①小規模または作業効率は。率の悪い中山間地等の耕作放棄地の現状と対策は。

②平成28年度の県間調整の拡大は。
③環境保全型農業の推進と食味向上対策は。
④ICT（情報技術）の活用した南魚沼市農業をどう進めて行くのか。

A市長 ①平成26年度の調査では18・2ha確認され

ている。耕作放棄地再生利用緊急交付金を活用して、市内5か所124aが再生された。中山間地直接支払多面的機能支払交付金、人農地プランを活用し発生防止に努める。

②今年度の県間調整の面積は、778haが確保でき希望農家に配分できた。平成28年度も今年度並み以上を福島県から確保できると考えている。

③土づくりは重要であり、食味にも大きくかわる。気象変動に強い栽培と環境保全農業を大きく推進していくかなければならない。

④農業従事者の減少、高齢化が進む現状の中、農業の活性化を目指す対策としてICTの活用は、地域で培った高い農業技術をデータ化し栽培に活用される。市のICTパーク構想とあわせて、ICT技術の活用は経営管理・販売管理等にも期待ができる。



南魚沼産コシヒカリの刈り取り作業



新生市民クラブ
中沢 俊一

CCRC構想とICTパークをあわせ、「第二の開国拠点」を目指す

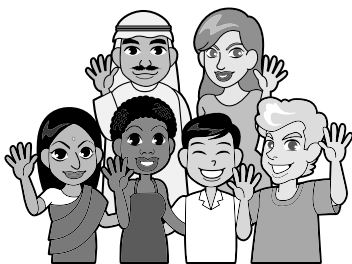
答 海外での市長調査も含め、検討を始める

Q質問 合併特例債を駆使しての建設の10年が終わる10年が始まった。井口市政の進化がまさに決定する10年だ。以下3点につき見解を問う。

①南魚沼版CCRC構想を国策級の案にまでふくらませないのか。
②ICTパークが始動。市長は率先して海外に出よ。市長のトップセールスこそ第二の開国拠点づくりの肝だ。
③教育現場で若者の胆識を育てうる市の将来像を示せ。故郷南魚沼市が21世紀における第二の開国拠点になれる展望を示せば、若者は育つ。

A市長 ①当市のCCRC構想は他の自治体に先行しており、担当大臣からの評価も高い。すでに国策級であり、当面はこの案を進める。

②議員からの海外出張要請は珍しい。日程などを見極めて判断したい。



③単なる知力に比べて胆力の重要な点はわかる。提言を考慮に入れ、今後の教育の判断材料としたい。



歩む会
塩谷 寿雄

市が学童保育の管理をしっかりとせよ

答 管理責任があるが、そればかりではない

Q質問 11月19日に学童保育で児童が大腿部骨折をする事案が起きた。現場では救急車を呼ばず、一時間後に保護者の車で病院に搬送した。虐待の恐れがあると、医師が警察に通報した。11月25日に保護者に市職員ではなく委託しているNPOから説明があった。

①児童福祉法、施行規則、条例等で市に管理責任がある。学童保育の指導員は数時間

の雇用体系だ。午前中は市の他の仕事を行うようにできないか。

②以前にも子どもが前歯を折る事件があった。その職員はいったん解雇されたが数年後にまた採用されたと保護者から聞いた。他にも何らかの事故等があったか把握しているか。

③市の管理をしつかり行い、体の傷だけでなく心の傷の今後のケアを行うべき。二度とこのようなことが起きないことを願う。

A市長 警察が事故なのか事件なのか捜査中だ。今回は報告が一夜遅れたことが大きなつまずきだ。

①年1回全クラブの巡回、毎月の所長会議を行っている。職員に経験と高い専門性が必要だが、現状は難しい。勤務時間の問題は、市でも仕事があればいいが、課題として検討する。

A保健福祉部長 ②軽微なものも報告されてはいない。

③実態調査を行う。



学童保育施設



歩む会
林 茂男

イベント・大会等の運営の負担軽減化を

答 認識は同じ。知恵を集めて対応していく

Q質問 官民双方の運営における負担感は過剰となっており、限界感すらある。費用面では官側で言えば補助金、民側では自主財源や協賛金、選手・参加者等からの出場申込金などで賄う運営費だ。

人的負担感、官で言えば職員派遣、民側では役員のボランティアだのみである。市側の現状認識はどうか。

補助金を「打ち切る」「なければやれない」という枠組みから抜け出し、拡大・永続のために新しい仕組みが必要ではないか。例えば、各種のマラソン大会等で経費の多くはマイクロチップを使用するタイム計測を担うシステム管理業者への支出だが、これを市が所有・運営し主催団体を助けていく。または個々の対応ではなく市が年間契約で業者を選定する。現状額の補助がなくても運営可能な体制ができる。その余力を有償のコースタッフの配置に充てることで人的負担を軽減する。一方、備品の負担が大きい。個々の保有という非効率を見直し管理、供給を市が担い共有財産とし一元化を。

A市長 大会・イベントの増加で職員派遣も含め負担は大きい。本人のボランティア参加以外は、休日については原則代休制度で対応しているが、それを取れない状況がある。軽減化へ統廃合な

ど庁内に検討部会を設置し協議しているが難しい問題だ。備品の一元管理化は厳しいと思う。



塩沢一周駅伝



南魚みらいクラブ
塩川 裕紀

地盤沈下対策を問う

答 副市長を先頭に対策チームで検討を始めている

Q質問 現時点で六日町中心部の井戸掘削規制区域内では新たに井戸を掘ること

が許されておらず、現在使用中の井戸が経年劣化等で使用できなくなった場合、掘りなおすことも許されていない。高齢化が進む中で早急に手を打っていかねばならないのではないか。

①地盤沈下の詳しい原因、沈下量は。

②公共施設の杭基礎は顕著に沈下が見えるが、一般家庭の被害状況は。

③地下水が活用できないことによる六日町中心部の人口の空洞化による経済的損失は大きいのでは。

A市長 ①地下水の過剰汲み上げによる粘土層の収縮が原因だ。沈下量は六日町中学校付近の観測点が最大で、昭和54年9月から平成25年9月までの累計で94cm、直近5年の平均は2・02cmである。

②不当沈下による一般住宅の傾き等の報告はない。等しく沈んでいるものと思われる。上下水道管の被害報告もない。

③深刻な問題である。民家が込み合っている所は屋根の雪をおろせば消すために地

雪をおろせば消すために地

下水に頼らざるを得ない。しかも高齢者しか住んでいない場合がある。事業所も場所は良いのだが地下水が利用できないため進出しない。規制の部分を含め、抜本的な対策を、チームを作って検討し始めている。



市政クラブ
今井 久美

CCCC構想は移住定住促進策と捉えてよいか

答 地方に人口を増やす方法だ

Q 第2次総合計画基本構想が可決された。市の独自性を示す南魚沼版CCCC構想は、国がまとめた日本版にとらわれず、市独自の移住定住促進策と捉えているが、見解は。

A 日本版は高齢者移住、退職者の方が当面の対象である。南魚沼版は老若混

在、独自のものだ。国際大学との連携の中で、新たな産業を起して行く。ITパークも新産業に繋がっていく。

Q 全国的に先行なら課題が出てくる。特区をつくってほしいなど国に要望していくべきだ。

A 開発事業者を決定していく。その中で建設位置の農振除外、国際大の用途変更などに直面する。特区的対応は来月の推進協議会で具体的提案を出す。

Q CCCC構想は移住定住策と捉えていいか。

A 一つの方法ではない。若者が結婚出産のもとになるものだ。魚沼市・湯沢町にも一緒になつてやろうと言った。

答 定住自立圏構想はいつ締結するか

答 3月議会で議決をもらってからだ

Q 魚沼市・湯沢町と進めている定住自立圏構想で、中心市宣言がなされた。中心市の本庁舎を含めた駅前

開発、地盤沈下について見解は。

A 地盤沈下は南魚沼市固有のことであり協定に含まれない。駅前再開発は隣と連携できれば定住自立圏で可能だ。



南魚政策研究会
樋口 和人

答 高校生の地元就職支援に積極的に取り組むべし

答 ミスマッチの解消に一層の力を注ぐ

Q 南魚沼市内の高校を卒業し、就職を希望する生徒のうち地元の事業所への就職が決まった生徒は約60%の30人強だ。

中学校の進路指導の先生方と高校の先生方との交流の場を設け、その生徒に最もあった進路を考えることが大切だ。南魚沼市に初めて赴任してきた先生方には、この地域を様々な角度から知ってもらい、児童・生徒に接してもらおうことで、地元への就職を考えるようになる。

地元の企業や経済団体、またハローワーク等と市の教育委員会もいれた中で、高校生への就職を支援する組織を立ち上げるべきだ。

A 南魚沼市では、常に有効求人倍率が高いが、「仕事が無い」との声がある。望む仕事がないからというところだが、これの解消はなかなか難しい。高校教師の中学校への視察はあるが、小学校へも拡大したい。学力で高校が決まるのが実態だ。就職支援の連絡会議に市の教育委員会を参加させるのは、なんの支障も無いと考えるので、取り

組む。南魚沼市をよく知ってもらうために南魚沼市らしい教育を全校に配布したい。



南魚政策研究会
中沢 一博

答 若者雇用、支援強化せよ

答 全力をつくす

Q ①若者の所得増大とブラック企業対策は。

②経済の好循環実現に向けた
地方版「政労使会議」の実
現を。

A
市長 ①若者層が厳しい事は
承知している。産業
の誘致に今全力を尽くして
いる。当市のブラック企業
の実態は掌握していない
が、県労働局と実態を解明
して行きたい。

②商工会との懇談会は行つて
いる。課題を明確にした中
で、出来ればと思っている
が、もう少し時間を頂きた
い。



答
希望持てる、子育て支援
の強化を

答
前向きに対応したい

Q
質問 ①子育て世帯包括支援
センターの早期整備
を。

②保育園入園基準改正で入園
できない子どもがでた。保
育園の利用要件緩和を。

③外出時に乳幼児のおむつ替
えや授乳が出来る「赤ちゃ
ん駅」の整備推進を。

A
市長 ①人口減少に大きく繋
がる事でもあり、本
当に前向きに取り組みを検
討したい。

②制度改正後に保育園を出で
るを得ない実態の人も出て
いる。来年度から利用緩和
に向けて、空きがある場合
は緩和して行く方向であ
る。柔軟に対応したい。
③先行事例を精査した中で、
検討して行きたい。



市政クラブ
腰越 晃

答
南魚沼市後期教育基
本計画が目指す教育
とは

答
市民憲章の精神を生か
した教育

Q
質問 ①改定作業の基本は。
②教育の課題と方向性
は。

③教育委員会、市長部局のコ
ラボレーション及び全体コ
ーディネートは。

A
教育長 ①市民憲章「自然、人、
ものづくりを大切に、
明るい住みよいまちづく
り」を教育に反映し、全て
の南魚沼市民の学びを義務
教育から生涯学習に拡大し、
5つの章からなる基本計画
とした。

②学校教育・幼児教育推進編
では「安心安全で活力に満
ちた学校づくり」「意欲を
高め確かな学力育成」「健
やかな身体を育成する環境
の整備」「夢・未来・希望
を育む教育」「共生社会の
礎、特別支援教育の推進」
「幼児教育の推進」を基本
方針にしている。

生涯学習・社会教育推進
編では生涯にわたって学習
することが出来るシステム
を構築することが課題だ。
今回の改正の変更部分は生
涯学習を基本方針に入れ込
んだことだ。「学びの里南
魚沼プラン」「南魚沼市民

カレッジ(仮称)」「生涯学
習支援センター」を基本方
針にしている。

子ども若者育成支援推進
編では「セーフティネット、
子ども相談、若者相談、家
族相談を充実」「専門機関
との協働、相談者に寄り添
う包括支援体制の充実」を
基本方針にしている。

③計画実現のコーディネート
全体調整は教育長。教育
部局各課からなる教育基本
計画調整委員会(仮称)を
設置、必要に応じて、学校
園の代表者及び市長部局各
課を加えた調整機関として
機能させる。



健やかに育つ小学生

日本共産党議員団
田村 眞一

答
高齢者の貧困対策の
拡充を

答
危機感を持って対応
したい

Q
質問 ①高齢者の貧困が日本
社会の存続に関わる
喫緊な課題という認識は。

②東京都日の出町の後期高齢
者医療制度自己負担ゼロの
ような安心して医療が受け
られる取組みができない
か。

③生活保護を受けやすくわか
りやすく周知させる対策
は。

④孤立する状況をつくらない
ための対策、民生委員の定
着は。

⑤生活保護・冬季加算(暖房
費)の特別基準設定への対
応は。

A
市長 ①当市でも貧困は進ん
でおり、将来下流老
人化するリスクは高い。危

機感をもっている。

②高額所得者もおり公平でなくゼロにはできない。

③制度は十分に知れわたっている。年金や給料をもちろていてと該当にならないなど誤解もあり一層周知につとめる。

④民生・児童委員、行政区長に要配慮世帯台帳を配布し見守り活動を行なっている。改選時に継続を働きかけている。

⑤該当の世帯は1世帯。今冬の状況をみて適切に判断したい。



市政クラブ
勝又 貞夫

予算・決算書の書式を現行より分かりやすくせよ

答 広報で分かりやすく知らせている

Q 質問 近隣の自治体の決算書は、税金が実際にどのように配分されて使われたか、末端まで金額を数字で追えるように書かれている。南魚沼市では書式がちがい分かりやすい書式に変えるべきではないか。

A 市長 予算・決算書については合併時に書式を統一し、その後改めてはいない。議決・認可していただいた内容を、広報で市民に分かりやすく、グラフを使うなど見やすい形でお知らせしている。市民からの不満は届いていない。



予算書・決算書

指定金融機関を定期的に替えてみてはどうか

答 替えることにメリットはない

Q 質問 定期的に指定金融機関を替えている自治体もあると聞く。当市ではなぜ指定金融機関を替えないのか。公平性の面からも定期的に替えるべきではないか。長期間指定を替えないことにより癒着が生じることはないか。

A 市長 指定金融機関を替えるには膨大な事務が発生し、期間と労力がかかり、何のメリットもない。癒着については、不祥事が起きないよう規律を正しながらやっていく以外にない。



新生市民クラブ
佐藤 剛

動き出した有利な情勢をどう生かすか

答 広域連携、企業進出に結び付けたい

Q 質問 基幹病院開院での人の流れを生かしたメデイカルタウン構想実現の戦略はないのか。改正農地法で農転等は進むか。

南魚沼市を中心市とし魚沼市、湯沢町とで定住自立圏が動き出した。その広域連携で新幹線浦佐駅活用、只見線浦佐駅乗り入れ等広域観光をどう進めるか。また、大和庁舎に誘致を計画するITパーク構想は当面インド、スリランカ等から16社のIT関連企業のサテライトオフィスを予定している。

これは取組み次第で、更に多くの企業、サテライトオフィス誘致と雇用創出として移住、定住の促進へと可能性は

大きい。これらの情勢をとらえた積極的な取り組みの考えは。

A 市長 メデイカルタウンに関しては、新潟県地域医療推進機構も今後の計画に医師充足も含め地域に寄与する基幹病院を上げている。併せて、CCRC、ITパーク構想等と関連して企業進出を促したい。問題の農転等の期間短縮、緩和を強く求めている。

定住自立圏では、魚沼市の同意と協力が得られれば魚沼観光圏の窓口としての浦佐駅活用と只見線乗り入れの実現に向けてJRに要望していきたい。

ITパーク構想は、今年度中に県を含めた協定締結を進



2市1町で定住自立圏形成へ

める。人脈、国際大学等活用してできる限りの支援と更に日本企業進出にも結びつけたい。



市政クラブ
桑原 圭美

小中学生の学習環境の充実を

答 支援について

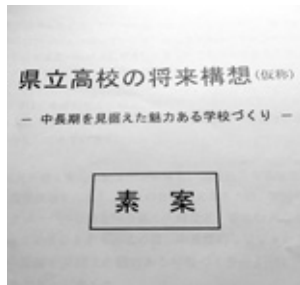
Q 質問 我が国は先進国の中でも教育に対しての公的支出が極めて少ない。更に、世帯間の経済格差がそのまま教育格差となり、子どもたちの将来に影響を及ぼすことが懸念される。

学習環境の充実はどの政策よりも優先して実行されるべきである。

① 高校受験を見据えた小中学校の連携は。
② 高校受験に関して、市と高校が連携できるのか。

A 教育長 ①まず、中一ギャップの克服に取り組む。中学校への体験入学会や部活体験、教職員による小中学校の連携は教育研究会を組織した。学力向上には積極的に取り組んでいる。土曜日学習を拡充する。

② 連携可能である。高校との連絡会を持ち、定員割れ等の説明に積極的に入れるようにしている。



県立高校再編に関する県教委資料

健康事業を浸透させ、財政負担の軽減を

答 日体大と連携して取り組んで行く

Q 質問 今後、投資的事業が十分にできなくなることを財政シミュレーションが示しているが、それは地域に

とを財政シミュレーションが示しているが、それは地域に

とってマイナスである。根拠を持ったスポーツ健康科学を取り入れた自助努力により医療費軽減を図る取り組みは検討できるか。

A 市長 健康で長生きすることが実践できれば、医療介護費の軽減になるので取り組んで行きたい。



新生市民クラブ
寺口 友彦

今後10年間は思い切った統廃合をするのか

答 非難を覚悟でやるべきものはやる

Q 質問 人口が減り、税収が減る中で、公共施設の適正配置による合理化を図り、行財政運営の効率化をせよ。そして市民サービスの向上に資する選択と集中を10年間で

おこなえ。

A 市長 固定資産台帳整理をしている。これが終わ

ったら管理計画を立てる。サービス低下を防ぎながら、人口ビジョンの規模に見合ったものにする。取り壊すと問題が出てくるが、必要とあれば、首長が責任を持って批判を覚悟でやる。

県立六日町病院外来棟を再利用せよ

答 再利用せずに、全部取り壊す

Q 質問 市民病院が近くにあり、から外来棟を総合福祉センター、子育て支援センター、医療モールにせよ。

A 市長 総合福祉センターは構想として残したが、市民病院がどう展開するかをみてから決める。子育て支援センターは、3か所の「ほのぼの広場」があるので、センターとして1か所集中はしない。塩沢保育園は、全天候型子ども広場「てくてく」のようにする。医療モールは、民間が作る。市民病院は内科、民間が脳外科であればよい連携がとれる。県立病院建物はすべて取り壊す。



旧六日町病院外来棟

CCRC構想の拠点となる国際大学周辺整備は

答 都市計画道路であり必要な時点で着手する

Q 質問 ①南魚沼版CCRC構想が実現に向けて着々と準備が進んでいる。国際

大学から2km圏に位置する浦佐駅・大和庁舎・基幹、大和病院・国際情報高校・八色の森・大和SIC・北



南魚みらいクラブ
小澤 実

里大学保健衛生専門学院がある。これらの施設を結ぶ道路として、国際大学正門から北に向け八色原集落を抜け北里学院までの約1kmを一級市道として整備できないか。

②サイクリングターミナルを中心に多数のイベントがなされる中C C R C構想にも関連するサイクリングロードは、平成23年の水害以来通行止めとなっている。解除の予定と草刈の実施について考えを伺う。

A 市長 ①都市計画道路八色大崎線として計画されている長期未着手都市計画道路である。C C R C推進協議会の建設案を見ながら整備着手を考えて行く。
②災害復旧は平成25年度で完了したが、山の中腹に土砂が堆積していること、転落防止柵の設置が必要である。優先的に未着手状態だ。草刈は業者、職員で行く。



歩む会
笛木 晶

**北里大学保健衛生専門学院
に入学した生徒に返済免除
型奨学金制度を設けよ**

答 現行の制度で対応する

Q 質問 平成26年に市が実施したまちづくりに関するアンケートで、将来就きたい仕事、職業の中で最も多いのは医療従事者となっている。南魚沼市民病院、魚沼基



北里大学保健衛生専門学院

幹病院の開院により、医療従事者不足が顕著に表れている。市内の雇用、人口増加のためにも、北里大学保健衛生専門学院に入学した生徒を対象とした返済免除型の市独自の奨学金制度を設け、医療技術者を養成する考えはないか。

A 市長 現行の制度で対応する。南魚沼市立病院、診療所に勤務をしてもらえるのであれば、予算の範囲内で月5万円、4年間で240万円の貸与の用意をしている。



市政クラブ
阿部 俊夫

水道事業運営の見通しについて

答 厳しい財政運営だが、水道ビジョンにそって全力を尽くす

Q 質問 水道事業は休むことなく、安心な水を安定的に供給することが義務付けられており、市民生活の最重要インフラである。建設時の過大投資で企業債の元利償還金と利息が常に給水収益を上回っている。想定以上の人口減少で給水収益は減収し、そのうえ高料金対策分の動向によっては資本費平準化債も制限される。料金現状維持の水道ビジョンの財政運営に無理は生じないか。

また、配水量は増えたが有収水量は減り、漏水は142万トンで4,000万円分もある。全国有数の地盤沈下地域だが、見えない所で管路の老朽化の調査と実態

の把握はされているのか。

A 市長 指摘の通り発端は過大な水道施設への投資だが、当時は誰も見通せなかったわけで、我々の責任として対処しなければならぬ。ただ、毎秒0.86トンの水利権は将来展望のもてる大きな財産と考える。25年度に水道ビジョンの改定を、26年度には資産管理を行い、長期的視点で更新事業費と財源の検討、緊急水源確保の基本計画の策定等をしており、料金改定は考えず、またあらゆることに全力で取り組みたい。管路については、すべて漏水とは考えないが、見えない所で調査が難しい。35年後の更新のピークを迎えると年間50億円もの事業費がかかるので、策定作業を急ぎたい。





歩む会
牧野 晶

もつと観光振興を

答 話し内容を聞いて

Q 質問

①旅館等の閑散期である5、6、9、10月の合宿誘致の為に、期間限定の合宿の補助金の実施を検討せよ。

②県が、対象宿泊施設（ホテル・旅館・民宿）利用代金の半額を補助する、ふるさと割「うまさぎつしり新潟の旅」の事業をしたが、市内では恩恵があまりないと聞いているが検証をし改善点を県に要望せよ。

③入湯税の用途をもつと観光に。

A 市長

①実施している自治体を調査して検討する。

②恩恵があったという声も聞いているが1月末のキャンペーン終了後に検証し、県

若者の声を市政に

答 広く市民に門戸を開いて

Q 質問

スケート愛好家の有志の若者達が声をあげて行政に求めたスケートパークの整備方針を決定した。今後も若い世代から気軽に相談される街にするために窓口を開くべき。

A 市長

若者に限らず相談しやすい雰囲気をつくっていく。

③過去に用途について温泉組合の方に意見を求めたが回答がなかった。お互い話し合い改善していくことはやっていく。



スケートパーク

HOT WORD 解説

「南魚沼版 CCRC 構想」ってなんですか？

最近、議会のなかでもよく出てくる「CCRC 構想」という言葉。現在市が進めている「南魚沼版 CCRC 構想」について簡単に解説します。

Q: CCRC ってなんですか？

A: Continuing Care Retirement Community（継続的なケア付き退職者コミュニティー）の頭文字をとったものです。高齢者が健康なうちから入居し、必要に応じて介護や医療などのサービスを受けながら、人生の最期までを過ごせる生活共同体を指します。従来のサービス付き高齢者住宅との違いは、健康なうちから入居してできる限り健康寿命を延ばすことを目指す点です。

Q: 「南魚沼版 CCRC 構想」の中身は？

A: 国際大学や魚沼基幹病院等と連携した CCRC で、特に趣味や消費に意欲的な高齢者の移住を促します。それによって新たな産業の創設や雇用が生まれ、生産年齢人口の増加、人口減少の抑制、地方創生に繋がっていくという構想です。

Q: 市が施設を作るの？

A: 施設の整備やサービス提供を含め、運営する CCRC 事業の主体となるのは民間事業者です。道路や上下水道等のインフラ整備と地域との交流・連携の仕組みづくりが市の主な役割です。

Q: それなら市の負担は少なくてすむの？

A: 現在はコンサルタントへの委託料等の支出が予定されていますが、国からの交付金でまかなわれる見込みです。今後、介護保険・医療保険を含め、どのように市の予算へ関わってくるか、議会として注視していきます。

※市報2月1日号11ページでも南魚沼版 CCRC 構想に触れていますのでご覧ください。



第9回地域医療対策調査特別委員会

○期日 平成27年8月18日

○調査項目

●南魚沼市民病院建設工事の進捗について

南魚沼市民病院の建設現場で工事の進捗状況について説明を受けました。

●南魚沼市民病院の開院準備状況について

南魚沼市民病院の診療について、診療(標準)科は25科、診療日は月曜日から土曜日、休診は土曜の午後第3日曜日・日・祝日・年末年始を予定している。

南魚沼市民病院の開院は11月1日であり、11月1日にゆきぐに大和病院から患者移送を予定している。外来診療の開始は11月4日からを予定している。

○質疑応答

Q 患者は、内科・外科・整形外科の病棟から、リハビリセンターに通うのが一般的であり、リハビリ専門の病棟(回復期リハビリテーション病棟)はなぜ必要なのか。

A 脳血管障害で倒れた人や大腿骨骨折の患者が(急性期の治療後)一刻も早くリハビリに取り組むことによつて、その後の回復が違つてくる。リハビリに早期に取り組むのが重要で、そのような患者を受け入れるのが回復期リハビリテーション病棟である。

Q 地域では市民病院に産婦人科を設置の声がかなりある。現在は医

師の確保等では難しいと思うが、今後の取り組みとして医師の確保など市民病院でもできる体制の可能性を、探りながらということだつたが、現在の状況はどうか。

A 産科については、近くに安心して子どもを産める施設が充実するのが理想である。お産は、産科の先生、小児科の先生が24時間体制を組むことが必要になつてくる。現在の市立病院の医療提供体制ではすぐに(周産期医療体制の)実現は難しいと考える。

Q この地域は大和病院を中心に保健・医療・福祉の連携で全国に先進的な地域医療を展開してきた。基幹病院と、市立病院の周辺の医療がうまくいかないといふ、これからの地域包括ケアシステム、在宅医療などがうまくいかないと思う。それらについての考え方はどうか。

A 地域医療の充実については、今まで大和で培ってきた経験と実績がある。今後はこれを、市民病院を拠点に塩沢・六日町地域に広げていく方針である。診療体制も大和病院と同様に土曜日(土曜診療)も地域医療の充実の一環である。(南魚沼市民病院では)往診等も含めた在宅医療について塩沢・六日町地区にも充実した体制で進めていきたい。

他市町村議会からの視察を受け入れました

南魚沼市の特徴的な取組や先進事例についての視察を、12月末までに15件受け入れました。

日付	自治体名	委員会／会派	視察内容
5月12日	大阪府松原市	総務建設委員会	「牧之通り」暮らしまちなみ出会空間整備事業について
5月17日	愛知県岡崎市	公明党	いきいき健康特別金利定期預金について
7月15日	沖縄県名護市	市民の響	「牧之通り」暮らしまちなみ出会空間整備事業について
7月17日	埼玉県坂戸市	緑政会	「牧之通り」暮らしまちなみ出会空間整備事業について
7月22日	岡山県新見市	総務産建常任委員会	南魚沼版 CCRC 構想の取組について 女子力観光プロモーションチームの取組について
8月5日	埼玉県坂戸市	二三の会	南魚沼市版 CCRC 構想について 防災・減災対策について
8月10日	兵庫県宝塚市	公明党	南魚沼市版 CCRC 構想について
8月13日	墨田区	公明党	子ども若者育成支援センターについて
10月2日	群馬県玉村町	文教福祉常任委員会	ライフデザインノートについて
10月8日	静岡県清水町	民生文教委員会	ライフデザインノートについて
10月22日	桧原村、あきる野市 日の出町	秋川流域市町村議会 正副議長会	女子力観光プロモーションについて
10月29日	千葉県松戸市	社民無所属クラブ	浦佐認定こども園について
11月9日	福島県鏡石町	産業厚生常任委員会	美女旅について
11月10日	北海道岩見沢市	岩見沢地区 消防事務 組合議会	消防行政について
11月11日	福岡県朝倉市	建設経済常任委員会	南魚沼市女子力観光プロモーション事業について
11月18日	山梨県南アルプス市	創政クラブ未来	人口減少問題に関する取組について

CCRC 構想についての議員勉強会を行いました

現在市で取り組んでいる CCRC 構想については、市の重要施策として今後議会で審議していく場面が予想されます。そこで、議員全員が CCRC 構想についての理解を深めておく必要があると考え、勉強会を行いました。

- 期 日 : 2015年12月3日 9:30 ~ 11:30
- 場 所 : 議場



第1部 アメリカの CCRC事業の現状

説明者：中沢俊一、永井拓三

(説明者2名は私費でアメリカのCCRC事業を視察してきました)

11月にアメリカのCCRC事業を展開している代表的な都市であるユージーン市を視察し、その現状を説明しました。特にアメリカではCCRC事業の展開に行政がほとんど関与することなく、民間事業として展開されていることが重点的に説明されました。中でもカスケードマナー社の取り組みに対して調査を行った結果、50年間継続している事業の内容と、いかにして継続しているかということが難しいことが課題であることが示されました。事業規模や住宅の形に関しても詳細に説明がありました。また、入居者の入居時の年齢やその後の生活についても説明があり、現在計画している日本版CCRCと本場のCCRCには事業的な部分で差があるということの説明もありました。

Q 事業はどのように展開しているのか。

A 1事業に対して、単体で事業を展開している。

Q 気象的な部分で、南魚沼市にデメ

リットはあるか。

A 我が市の場合、除雪問題が発生する。これを高齢者に負担させることはデメリットであると考えられる。

Q 地元の雇用は成り立っているか。

A 成り立っている。基本的には地元が中心で、平均収入よりも高いので人気職である。

Q 入居者の居住費用等はどうなっているか。

A 基本的には医療制度ではないので全て自己資金で入居している。

Q 財政的な部分はどうか。

A 行政からの費用補助は行っていない。全て私企業のビジネスである。居住形態はどのようになっているか。

A ユージーン市全体で見ても、居住形態は集合住宅型がほとんどである。

Q ユージーン市内にどれくらいの需要があるか。

A 全体で5,6社あり、各200人程の入居者がいる。

第2部 南魚沼版 CCRC構想の現状

説明者：企画政策課長

現在、南魚沼市が計画している構想

に関する説明がありました。これまでに検討の経過や関連の動向など、さまざまな説明があり、メディアカルタウン構想や学園都市構想などの地域づくりにつなげるための事業である点が示されました。また、浦佐地域の開発と国際大学等との連携が検討課題である点が重要であるという説明がありました。

Q 今どれくらいの企業がCCRC構想に興味を持っているのか。

A 名前を公表することはできないが、3社が興味を示している。

Q おためし居住の件はどのように捉えているか。

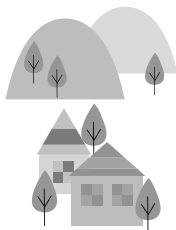
A 今のところ申し込みはないが、今後の検討課題だ。

Q CCRC構想の事業内容を理解できるような日本語の事業名はないか。

A あることが望ましいが、なかなか合うものが見つからない。

Q 居住者の需要は移住者がメインなのか。市内からの入居者は考えているのか。

A 基本的には移住者であるが、市内からの需要があるようであれば、受け入れたい。



議会報告会を開催しました

南魚沼市議会では議会活性化の取り組みの一環として、より開かれた議会、市民との対話を目的に、広報と広聴の両面を合わせ持つべき取り組みとして、今月初の開催となりました。

10月23、26、27日の3日間で、それぞれ塩沢、六日町、大和地区の3会場で開催しました。3会場合計で約150人の方々に参加いただきました。

内容としては、9月議会の概要、医療再編について説明を行いました。その後、意見交換会で、各会場とも大勢の市民の皆様から市政全般についてのご意見やご要望をいただきました。

議会報告会での発言は記録し、議会でも検討しました。必要な意見、提言については公式な議論の参考意見にしたいと考えています。

今後、議会と市民を繋ぐコミュニケーションの場として、真摯に意見交換できる議会報告会を定期的に開催する予定です。議会の報告会にご期待ください。



10月23日 塩沢公民館



10月26日 市役所本庁舎



10月27日 大和公民館

編集後記

昨年の冬の豪雪に比べると、今年の雪は少しもの足りない気がします。雪といえばこの地方にとって恵の雪でもあり、また時には災難の雪でもありました。気象条件により大きな雪の結晶が降り、雪面で七色の光を反射することがあります。純白の雪がこの世界を清めてくれるのだと思いつつ、…昨年の春には愛犬を連れて、何度も雪原のしみわたりを楽しみました。今年の積雪はどれほどになるのだろうか？

今年の干支は申(さる)ですが、「見ざる・言わざる・聞かざる」では議員の仕事は勤まりません。議員たるもの多くの市民に会って話を聞くべし…、これを基本と考えながら、今年も編集委員一同でより市民に分かりやすい議会だよりにすることを心がけたいと思っております。

編集委員 勝又貞夫

3月議会

予告

3月に市議会定例会を開催します。

2月29日～3月18日(予定)

お問合せは 議会事務局 (☎773-6650) へ

議会広報編集特別委員

委員長	寺口 友彦
副委員長	永井 拓三
委員	田村 眞一
委員	清塚 武敏
委員	勝又 貞夫
委員	桑原 圭美
委員	笛木 晶
委員	塩谷 寿雄